

ネットワーク堀

第49号

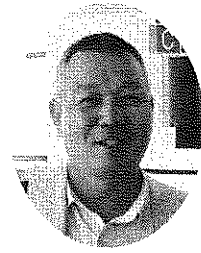
平成29年8月18日

発行

大正地区福祉
推進協議会

これからの地域

福祉づくりに向かって



大正地区福祉推進協議会会長

河谷 寅夫

晩夏の候、区民の皆様方には益々ご壮健のこととお喜び申し上げます。

平素は、大正地区福祉推進協議会にご理解・ご支援を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

今年度、引き続き会長の重責を担うことになりました河谷でございます。地域福祉事業の推進に向けて、微力ではありますが誠心誠意努めてまいりる所存ですのでよろしくお願いたします。

大正地区福祉推進協議会では今年度も事業計画に基づき「地区内における人々の交流と助け合いを通じて、地域福祉の一層の充実強化を図る」ことを主に活動してまいります。

さて、七月に起こりました「九州北部豪雨災害」では、未曾有の事態となり、一夜にして甚大な被害をもたらしました。日頃から何か事が起れば、連絡網などを通じ避難誘導等の連携がとれていた地区もあつたようですが、実際には何も出来ないうちに被害に遭遇されたところも多くあつたそうです。

災害時に必要な「地域のつながり」は、すぐには出来る

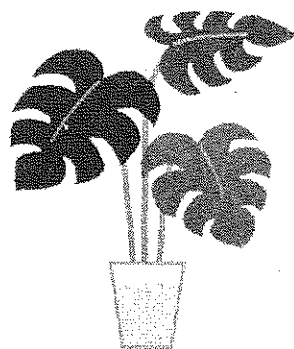
ものではありません。何気ない日常生活を支え合う、そんな日頃の活動の積み重ねが大切です。

行政機関をはじめ、地域の皆様、各関係団体と密に連携し情報の共有化を進めるとともに、平常時から災害時に備えての取り組みを進めてゆかなければならないと思ひます。

近年、生活支援体制の整備について、行政の各関係機関より、「2025年問題」（団塊の世代が七十五歳を超えて後期高齢者になり、国民の三人に一人が六十五歳以上、五人に一人が七十五歳以上になること）を前提に踏まえ、通達や指導が多くなつてきています。特に「地域包括ケアシステム」については、これまで国主導で高齢者福祉事業が行われてきていましたが、今後につきましては、市町村などが主体で行われることにより、高齢者が住み慣れた地で、安心して暮らせるよう、行政・民間・ボランティア団体がより自由に自主的に地域づくりをしていくこととなります。

大正地区におきましても、「自助・共助・公助」を機能させてゆき「お互いが支え合いの出来る温かい地域づくり」を目指し、今後も役員研修会・交流会・勉強会などを通じ、研鑽（けんさん）を積み、地位向上を図つてゆき「住んで良かった大正地区」と言われまますように活動を進めてまいりたいと思つています。

今後とも役員一丸となつて、地域に密着した活動を積極的に行ってゆきますので、皆様方の尚一層のご支援とご協力を心からお願いたしました。挨拶とさせていただきます。



集い・学び・ふれあい

大正地区公民館 館長 菅 沼 康 人

大正地区の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素は大正地区公民館の運営に多大なるご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私、今年度より館長を受けさせて頂きました菅沼です。今後とも宜しくお願いいたします。

さて、大正地区公民館は、永年継承されているテーマの「集い・学び・ふれあい」をモットーに、大正にお住まいの皆様とのコミュニケーション創りを大切に、少しでも喜んでもらえる事業の運営を心掛けてゆきたく考えております。

また、七月一日より『桃映地域公民館』が新たに設立され、今後は、庵我地区公民館と大正地区公民館が合同で取り組む事業が始まります。そのような中で地区公民館の役割の必要性を今一度立ち返り、意義のある活動を発信してゆく所存です。

またこの度、大正地区福祉推進協議会におきましては、副会長の任を受けました。戸惑いと不安の中、役員の皆様のお力をお借りして福祉推進事業の運営に微力ながら精進してゆきたいと思っております。

地区福祉推進の活動にしても、地区公民館の活動にしても、この地区の皆様が『参加しやすい環境作り』が必要ではないでしょうか。

そのためには、福知山市の教育目標にありますように「自分のため、人のため、共に幸せを生きる、人材の育成」の精神で、地元根付く我々自身の考え方や行動の在り方、また後進たちの育成が重要な課題です。

後にはなりましたが、大正地区にお住まいの皆様がご健康でご活躍されますよう祈念いたしまして、就任の挨拶と所信とさせていただきます。

「支え合う心」を育てるフレンドリー活動

大正小学校 校長 徳 丸 由紀夫

地域の皆様、私、本年度本校三年目（通算十年目）を迎えました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本校では、特色ある活動として「フレンドリー活動」を行っております。「フレンドリー活動」とは、一年生から六年生までの児童十数名が一つの班を形成し、一年間を通して活動を行う「異年齢集団活動」のことです。この活動のねらいは、高学年の児童が、下級生が安心して行動できるように導く「リーダーシップ力」を身に付けること、そして児童同士が協力し助け合う「つながり力」を育てることにあります。

四月二十八日、快晴の下、フレンドリーハイキングを実施しました。目的地の三段池公園までは徒歩で移動し、到着後、班ごとに弁当を食べ、ウォークラリーなどで楽しみました。

そして学校への帰り道、こんな場面に遭遇しました。ある一年生が歩き疲れたのでしょうか、急に座り込みました。すると一緒に歩いていた六年生が、一年生の顔をのぞき込み、「大丈夫？ 歩ける？ リュック持ってあげるから、もう少しがんばろう。」と優しく声をかけました。その一年生は、こっくりとうなずくと、再び立ち上がって六年生と手をつなぎ歩き始めました。わずかに十数秒ほどの何気ない出来事でしたが、私にはとても嬉しい光景だったのです。

これこそが、この行事を通して児童に期待している姿なのです。このようにささやかであっても、温かい関係があらこちから生まれる、「大正校名物」フレンドリーハイキング。

今後も、信頼と思いやりの心を育む「フレンドリー活動」を充実させていきたいと思っております。

民生児童委員三年目を迎えて

水内民生児童委員 蒲 たま美

長く民生児童委員を経験された友人に、「色々と勉強することが出来たので、受けたらいいよ。」と背中を押してもらい、また、主人の母を見送ったり、私の実家の母もひとり暮らしの後に施設のお世話になったりと、多くの方々を支えていただいていることを切に感じたりしてゆく中、私自身、恩返し的气氛もあり、少しでもお役に立てたらと思ひ、民生児童委員を引き受けさせていただきました。

高齢化社会がますます進んでゆく中で、おひとり暮らしの方や高齢者世帯や介護を必要とされる方が多くなつてゆく現状に触れながら、自分自身、「元気で自分のことが自分で出来る」という、当たり前にも思っている日常の生活が、いかに大切かと感じています。

おひとり暮らしをされている方々の見守りで、訪問をさせていただいた時、元気な笑顔を見せていただくと、こちらもそれ以上の元気をいただける気がします。

さて、水内ではこの五月より毎月十五日、「いきいきサロンいちご会」がスタートいたしました。

第三回目の七月十五日は本日に暑い日でした。その暑さを思うと「今日は来られないかもしれないね」と言いながらスタッフ一同待っておりましたら、時間前になる頃、ひとりまたひとりとお越しになられる姿を見ていて、本当に嬉しくなりました。参加された方から「家におつたらこんなにあうこと無いわ」と喜んでいただく声に、こちらこそ「ありがとうございます」との心をいただきました。ひとりでも多くの方に参加いただき

楽しんでいただける会でありたいと願っております。

今、三年目を迎え、改めて思うことは、小学校や中学校や地域の活動・行事に、本当にたくさんの方々関わっておられ、そのおかげで私たちの日々の暮らしや、安心にも似た『絆』がより拡がってゆくということです。

これからは、地域の人たちとの繋がりや、共に助け合い、共に支え合う気持ちを一層大切に育て合わなければと感じます。

「おかげさま」「ありがとうございます」の言葉を忘れることなく私なりに精一杯頑張りたいと思っております。

平成二十九年委員会総会を終えて

去る六月十七日、大正文化センターにて大正地区福祉推進協議会委員会総会を開催し、前年度事業報告・会計報告、新年度事業計画案・予算案のご審議を願いました。全ての議案において承認をいただきましたこと、紙上をお借りしましてご報告いたします。

尚、今年度計画しております事業は以下の通りです。

《平成二十九年計画事業》終了事業を含む

六月 六日 役員幹事会

六月十七日 大正地区福祉推進協議会委員会総会

六月十七日 勉強会…「日常生活支援総合事業」と

今後の地域の取組について

八月 「ネットワーク堀」第四十九号発行

十一月十三日 福祉機関視察研修会

一月下旬 勉強会…消費生活出前講座


二月 「ネットワーク堀」第五十号発行

安心生活見守りキーホルダー登録募集中

安心生活見守りキーホルダー事業とは、高齢の方や認知症状がある方、障害のある方が安心して暮らせるように緊急時に身元を確認できるように安心生活見守りキーホルダーを持つていただくものです。

事前に、ご家族等の緊急連絡先等を登録しておき、外出時の事故や徘徊などで保護された時や緊急時、救急隊や医療機関などに対して登録番号をもとに適切な情報提供を行います。


キーホルダーには、個人を特定するための番号だけでなく、プライバシーが保護されています。



No.10001

安心生活見守りキーホルダー

をお持ちになりませんか？



No.10001

鍵につけてみたら
安心して生活ができるようになったぞ！

お気に入りのかばんにつけてお出かけしとるんや！安心やぞ！

外出中、倒れた時や体調が急変した時にも安心やな！

安心生活見守りキーホルダーの大きさ
本体部分 6.1cm×1.9cm
*雨や洗面台に落としたりしても大丈夫な程度の防水加工です。

1人5個ずつ配布します◎

お出かけ前に杖や鞆、かばん、財布などにつけてご利用ください。


対象となる方は？
福知山市にお住まいの高齢の方、障害のある方です。まずは、ご相談ください。

費用はかかりますか？
無料です。

申込の方法は？
登録申請書にご記入の上、お申し込みください。

登録する内容は？
お名前、住所、性別、生年月日、電話番号、緊急連絡先、かかりつけ医療機関等です。

みんなが安心して過ごせるように…



ご本人様、ご家族様、お気軽にご相談ください。

◆お問い合わせ・申込先◆
福知山市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 0773-25-3211
FAX 0773-24-5282
受付日時 平日午前8時30分から午後5時15分まで
(土曜・日曜・祝日、年末年始を除く)